

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成28年2月24日（水）午後7時00分～9時00分
会場	水谷東公民館 講座室
出席者	世羅陽一郎 瀬戸 篤 山川亜紀子 田中聰行 中正美 是永国彦 山本百合子 川端正則 平井光夫 尾形忠男 浅見隆志 （以上11人） 鶴瀬公民館長（南畑公民館長兼務） 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館事務局担当 （合計15人）
欠席者	秋元富美子 吉川英亨 高橋康子 関根健一 本田和子
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎 委員
公開・非公開	公開（傍聴人0人）
会議内容	
※傍聴希望者がいないことを確認。 世羅議長あいさつ。 鶴瀬公民館長あいさつ。 1、 報告事項 （1） 平成28年度教育行政方針及び公民館関係予算（案）について ○鶴瀬公民館長より、「平成28年度教育行政方針」に沿って説明。 ・「Ⅱ学びあう地域社会をめざす教育の推進」が社会教育の部分となる。 ・家庭・地域の教育力の向上に関しては、「（仮称）家庭教育支援会議」を設置し、情報共有していく。 ・生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進に関しては、「郷土富士見検定」を5回目として取り組んでいく。また「ふじみ青年学級」については、食生活改善推進員と連携をし、食育推進の機会として取り組んでいく。 ・学びあう地域社会を創る活動の推進に関しては、公共施設予約システムを4月から導入し、利用者の利便性の向上を図っていく。また、「地域まちづくり協議会」の支援を行っていく。 ○「28年度事業別予算」に沿って説明。 ・鶴瀬公民館、キュービクル改修工事を予定している。 ・南畑公民館、卓球台の購入費を一般事務費から施設維持費に移行した。 ・水谷公民館、会議室用机・椅子購入費用を追加した。 ・水谷東公民館、給排水管等更生工事設計の積算を減額した。 これらについて、3月議会で審議中。なお、詳細は別添資料で確認してほしい。 [質疑・意見等] 委員：鶴瀬公民館の一般事務費が増えている理由は。 鶴瀬公民館長：南畑公民館の非常勤職員分の予算が含まれることとなったため。 委員：公運審委員は16名いるが、予算が14名分の理由は。	

鶴瀬公民館長：学校長が2名おり、公務日の平日に会議を行うことが前提のため。
議長：鶴瀬公民館に南畑公民館の非常勤職員の予算を含んでいるのは、鶴瀬公民館長の兼務の関係か。

鶴瀬公民館長：給与システムの関係で、公民館が1本化されたため。

(2) 各地区公運審会議について(各地区公運審地域議長より)

- 鶴瀬公民館：2月19日に実施した。設備関係の件、今後の学級講座の件を主に話し合った
- 南畑公民館：12月12日に、利用者懇談会を利用者の会と合同で実施した。新規導入のシステムの話、公民館の現状についての話し合いがなされ、多くの参加者が来館した。
- 水谷公民館：2月4日に実施した。次年度予算のこと、公民館により多くの利用者に来てもらうにはどうしたらよいかなどについて話し合った。サークル公開を通年で行う、コーヒーサロンを行うなどの意見が出た。
- 水谷東公民館：12月11日に実施した。1人傍聴人が来た。次年度予算、事業評価、新規導入のシステムなどについて話し合われた。なお、傍聴人は公民館利用者で、公民館とはどういうところなのかをより知りたくて傍聴したとのことであった。

(3) その他(各館から、27年度の事業報告を行う)

- 鶴瀬公民館：資料に沿って、取り組んだ事業のポイントを中心に報告。また、今年度は施設の維持管理に力を入れたことも報告(施設が35年以上経過していることから)。なお、昨年8月には「東松島市夏まつり」に参加し、被災地支援を実施した。
- 南畑公民館：子育て、子ども教育関係に力を入れた。また施設維持管理として、空調をリニューアルした。
- 水谷公民館：新たな事業を中心に報告。親の学習会、介護サロンをはじめとする各サロン活動などに取り組んだ。中でも、ピースサロンでは、3月26日にイベントを予定している。また、公民館利用者世話人会を「企画運営委員会」とした。
- 水谷東公民館：子育て応援勉強室、音楽の夕べなどが特徴的事业であった。安心まちづくり協議会では、さくら記念病院と相互支援協定を結んだ。また、今年度はホームページを充実させてきた。

[質疑・意見等]

委員：水谷公民館の企画運営委員会と公運審とのかかわりは。

水谷公民館長：委員さんは4人ともかかわっていただいている。

議長：26年度・27年度はまちづくり支援型公民館をめざすとしているが、具体的には。

南畑公民館長：南畑公民館では、新しい住民の方の声を聴く場を設け、ここから新たな事業につなげていこうと計画しており、これらが支援型公民館の一例であり、特徴となっている。

委員：何とかして、南畑地区を活性化させていきたい。

委員：利用者の会などとも話し合いを持ち、目指す目標をいつ頃までに達成させるかなど、より実効性のあるものとしていけるとよい。

2、協議事項

(1) 平成28年度富士見市公民館運営方針（案）について

最初に、鶴瀬公民館長より同方針（案）について報告。人口増に伴い更なるコミュニティーの充実などの課題があり、ここに向けての市民との連携と協働のまちづくりを行う。

- ① 市民主義
- ② 地域主義
- ③ 学習の権利の保障
- ④ 自由な活動の場としての施設提供

また、公民館には5つの役割もある。

- ① 学級講座の開催
- ② 地域社会をつなぐ
- ③ 情報提供
- ④ 相談・援助
- ⑤ 施設・設備の提供、整備

更に、各館ごとの重点項目について説明の実施。

- ・ 鶴瀬公民館：全市事業の推進。就学児の親の親の学び講座への取り組みなど。
- ・ 南畑公民館：学校・地域・家庭の一体化を意識した事業充実など。
- ・ 水谷公民館：各サロンの充実。水谷小学校の「郷土資料室」開設への協力。
- ・ 水谷東公民館：子育て・親育ち講座の充実。

[質疑・意見等]

委員：水谷公民館の水谷小学校への協力は、学校の教室での取り組みか。

水谷公民館長：そうです。開放の仕方は今後検討する。また、展示品に関するガイドの発掘と育成が課題となる。

委員：水谷公民館のこの取り組みは、市民大学との連携の可能性もある。

委員：施設提供の部分の重点項目に卓球台の購入について記載されているが、方針に載せるにそぐわないのではないか。

南畑公民館長：予算化されたものが載った形になっているので、整理したい。

水谷東公民館長：トイレの洋式化などに関し、利用者の皆さんの意見を取り入れていきたい。

委員：利用者サイド、高齢者目線での取り組みは評価できる。また、ボランティアをまちづくりの観点で、中学生や高校生が積極的に参加できるものを公民館がPRしていてもよい。例えば、NPO法人富士見市民大学が取り組む「コスモス街道」へのボランティア活動など。

鶴瀬公民館長：子どもフェスティバルがらみでも、課題としていきたい。

(2) 公共施設予約システムについて

最初に鶴瀬公民館長より、「公共施設予約システムご利用ガイド」に基づき説明。

○システムの基本は、空き状況の確認と仮予約ができること。2時～24時まで。

本申請は、公民館で。

○各公民館に、利用者端末を置く。

- 利用登録を実施する。
- 一斉受付は、当面残す。一般受付は、毎月6日から。
- ふじみ野交流センターは、抽選申込方式を先行していく。
- 各公民館の利用者向け説明会の日程について報告。
- 今後、PCサポートクラブの協力も得ながら、利用者への端末利用の説明会も計画予定。

[質疑・意見等]

特になし。

(3) その他

議長：教育委員会には生涯学習関係の5つの審議会がある。1月に合同で研修会があった。公運審の代表として発表してきた。公運審全体として協議できれば、教育長へも報告をしていきたい。

議長：特に他になければ、以上を持って閉会とする。

次回の開催は、平成28年5月18日(水)、水谷公民館にて行う。